

英文校閲の実際 第17話

——不可算名詞と集合名詞の数の扱いについて

今回は文例40で不可算名詞について学び、これに関連して、集合名詞の用法と数の扱いについて解説します。

文例39 : Preliminary Single-dose Toxicity Study in Monkeys: (5/7)

Results and Conclusion より

(校閲前原文) : ① Gender-differences in the plasma levels of ABC-123 and its metabolites were not clear at all dosage levels. ② In the previous oral toxicity studies in dogs, all animals showed vomiting after the single dosing of 100 mg/kg, while slight vomiting was noted in only one of 4 monkeys after the same dose. ③ Dogs are generally susceptible for vomiting probably due to the inherent excitability, indicating that this is a cause of high incidences of vomiting in dogs.

(和文) : ① ABC-123 及びその代謝物の血漿中濃度の性差は、どの投与量においても明確でなかった。②過去のイヌの経口投与試験では 100 mg/kg の全ての動物に、単回投与後に嘔吐が認められたが、一方サルでは、同じ投与量で4頭中1頭に軽度の嘔吐が認められたのみであった。③イヌは一般的に嘔吐しやすいが、これはおそらく遺伝的な感受性の高さが原因であり、このことがイヌの嘔吐率の高さの原因であると考えられる。

(校閲後) : ① Gender-differences in the plasma levels of ABC-123 and its metabolites were not apparent at any dosage level. ② In previous oral toxicity studies in dogs, all animals showed vomiting after a single dose of 100 mg/kg, while slight vomiting was noted in only one of 4 monkeys after the same dose. ③ Dogs are generally susceptible for vomiting probably due to an inherent excitability, causing a high incidence of vomiting in dogs.

(解説) ①の原文“were not clear”が“were not apparent”に修正されました。理由は“clear”が「間に邪魔するものがなくて明白に見える」の意味であり、“apparent”は「それ自体が明白に何かを物語っている」の意味なので、①は後者の“not apparent”が正解です。また、“at all dosage levels.”は肯定文向けの表現なので、“all”を“any”に変えて否定文向きの表現に修正されました。

原文②の“In the previous oral toxicity studies”の“the”は、“studies”が複数形で、内容が特定されていないため削除されました。また、“after the single dosing of 100 mg/kg”の“the”が、“a”に修正されました。理由は、100 mg/kg のどの投与でも嘔吐が起きるため、投与が特定されていないためです。また、“dosing”は投与という行為に重点を置く単語なので、副作用を論じる②では投与量に重点を置く“dose”に修正されました。

③の“the inherent excitability”の“the”が“an”に修正されました。理由は、興奮性には複数の種類があるため、そのうちの一つという意味で“an”が適切だからです。また、③の原文の“indicating that this is a cause of high incidences of vomiting in dogs.” (13語) は冗長であり、“causing a high incidence of vomiting in dogs.” (8語) に修正されました。

文例 4 O : Preliminary Single-dose Toxicity Study in Monkeys: (6/7)

Results and Conclusion より

(校閲前原文) : ⑭ Vomiting in dogs orally treated with ABC-123 is considered to be caused by gastrointestinal irritation because no vomiting occurred when given as the intravenous dose, and therefore, these vomiting was mainly noted within 1 hour after the dosing.

⑮ In monkeys study, however, most vomiting occurred several hours after the dosing except for 1 female at 1000 mg/kg which showed vomiting within 1 hour after the dosing.

(和文) : ⑭ ABC-123 を経口投与されたイヌの嘔吐は、同じ薬物を静脈内投与した場合には見られないこと、及び嘔吐が主に投与後 1 時間以内に認められることから、胃・腸管系に対する刺激性に由来すると考えられた。⑮しかしながら、サルの試験では、1 時間以内に嘔吐が見られた 1000 mg/kg 投与後の雌 1 例を除けば、ほとんどの嘔吐は投与の数時間後に見られた。

(校閲後) : ⑭ Vomiting in dogs treated orally with ABC-123 was considered to be caused by gastrointestinal irritation as no vomiting occurred when given as an intravenous dose, and therefore, these vomiting was mainly noted within an hour after dosing.

⑮ In monkey studies, however, most vomiting occurred several hours after dosing except for 1 female at 1000 mg/kg in which vomiting occurred within an hour after dosing.

(解説) ⑭の原文“orally treated”は、“treated orally”の方が自然です。また、“is considered”の“is”が“was”に修正された理由は、報告書は考察を含めて過去形で書くのが基本だからです。更に“because”（なぜならば）が“as”（～なので）に修正された理由は、“because”が重厚すぎるためです。更に、“within 1 hour after the dosing.”の“the”が削除された理由は、全ての個体で嘔吐が起きるため、投与が特定されていないからです。

⑮の原文の“In monkeys study,”が“In monkey studies,”に修正されました。理由は、名詞“monkey”の形容詞用法も立派な形容詞であり、形容詞は複数形を取らないからです。また、SDは⑮の前半では“vomiting occurred”と表現し、後半では“showed vomiting”と言い換えました。校閲者は後半も“in which vomiting occurred”に修正しました。理由は、「嘔吐を show する」という表現を校閲者があまり好まないためと考えられます。ただし、同じ校閲者が、“showed vomiting”をこれまでに何度も容認していることから、“showed vomiting”も誤りではありません（今回の文例 39 の⑫、第 15 話の文例 35 の④、同 36 の⑤を参照）。なお、⑮の最後の、“after the dosing.”の“the”は、dosing が特定されていないため削除されました。

以下は 名詞 “vomiting” に関する補足です。⑭の “Vomiting in dogs”（複数のイヌにおける嘔吐）、及び⑭の後半の “these vomiting was”（これらの嘔吐）の「嘔吐」は日本語的には明らかに複数ですが、⑭では校閲後も単数扱いのままです。これは “vomiting” が不可算名詞のためですが、正直に言って、このような数の扱いに筆者は若干の違和感を覚えます。そこでこの文法がどれくらい厳密に守られているかを Google USA のフレーズ検索で確認してみました：

A. “these vomiting was” のヒット数： 656 件

B. “these vomiting were” のヒット数： 5 件

C. “these vomitings were” のヒット数： 6 件

ヒット数が少なくて信頼度が低い可能性はありますが、これらの検索結果は、“vomiting” が

不可算名詞であり、複数形を取らず、単数形の述語で受けるという文法が英語圏でよく守られていることが分かりました。名詞の可算・不可算は言語によって異なると言われており¹⁾、英語では嘔吐も下痢も不可算名詞ですが、日本語ではこれらは数えられる概念です。結局、上記の違和感は嘔吐に関する英語と日本語の語感と文法の相違から生じたものであり、英語を扱う場合、日本語の感覚を完全に捨てる必要があることを改めて感じさせられます。

ところで、集合名詞の一部には、可算名詞の集合体で、したがって内容的には複数の概念を不可算名詞とし、常に単数形の述語で受けるものがあり、上記の数の処理に似ています。ただし、集合名詞には、常に複数形の述語で受けるものや、単数形にも複数形にもなる集合名詞もあるので注意が必要です（以下の補足解説参照）。

【補足解説】 集合名詞 (collective noun) の用法とその数の扱いについて

集合名詞とは同じ性質や種類の集合体を表す名詞を言い、以下の3つのタイプがあります²⁾：

1) 可算名詞の集合体が不可算となり、常に単数扱いされる集合名詞 (furniture 型集合名詞)

英語では家具類は一括して“furniture”と呼び、常に単数扱いされます。イメージ的には完成したジグソーパズルが“furniture”で、個々の家具はばらばらにした各ピースです。

したがって家具の数や量を表したいときは、a piece of furniture、a few pieces of～、a little/some(any)/much～などを使います。例：“I bought a few pieces of furniture.”

(私は2-3の家具を買った)。このタイプの集合名詞には他に、**baggage/luggage** (手荷物類)、**clothing** (衣類)、**equipment** (装置類)、**jewelry** (宝石類)、**machinery** (機械類)、**mail** (郵便類)、**underwear** (下着類)、などがあります。

2) 常に複数形扱いされ、単数では形が異なる集合名詞 (police 型集合名詞)

例：The police were investigating the car accident. (警察がその車の事故を調査していた)。この場合の police は警察全体、あるいは複数の警官を指しています。特に1人の警官を指す場合は、a police officer と、別の表現になります。このタイプの集合名詞には、他に people (人々)、cattle (畜牛)、poultry (家禽) などがあり、特に単数を指したい場合は、それぞれ、a person、a cow (雌牛・乳牛) /an ox (雄牛)、a chicken (若いニワトリ) /a hen (雌鳥) /a cock (雄鶏) /a duck など、別の名詞を使います。

3) 単数形・複数形の両方で用いられる集合名詞 (family 型集合名詞)

○単数形で全体を1つに扱う用例：My family is large. (私の家族は大家族です)

○単数形で個々に注目する用例：My family are all well. (私の家族は皆元気です。)

○複数形の用例：A lot of families are getting together. (多くの家族が集合する)

このタイプの集合名詞には他に、class (クラス)、club (クラブ)、committee (委員会)、company (会社)、crew (乗組員)、crowd (群衆)、enemy (敵)、family (家族)、firm (会社)、party (政党)、public (大衆)、staff (職員)、team (チーム) などがあります。

(馬屋原 宏)

引用文献

1) EF 英語学習リソースズ：

<https://www.efjapan.co.jp/eigo-resources/english-grammar/countable-and-uncountable-nouns/>

2) 「集合名詞は単数か複数か」：<https://syufueigonojikan.com/collective-noun/>